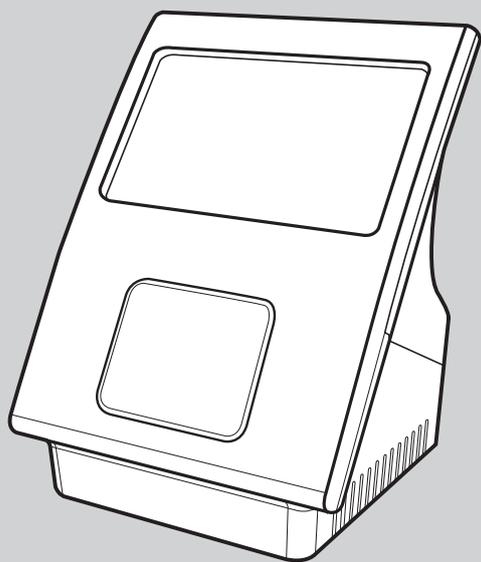




設定ガイド



必ずお読みください

本書中のマーク説明

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。



操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

ご利用にあたってのお願い

注意

電源を OFF にするときは、本製品の機能選択画面からシャットダウンを行ってください。動作中に AC アダプタを抜いたり、いきなり電源を OFF にすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを 10 秒以上続けて押さないでください。

- ・コンテンツセットの更新中
- ・コンテンツセットのクリア中
- ・コンテンツセット設定ファイルの更新中
- ・プロバイダ設定ファイルの更新中
- ・ファームウェアの更新中
- ・本製品の再起動中
- ・本製品のシャットダウン中

■設定ガイドの内容について

本書では「ピットタッチ・プロ 2」の設定方法を説明しています。
製品仕様については、本製品に付属の取扱説明書をご参照ください。



本書は本製品のファームウェア Version 4.44 を対象として記述されています。ご利用の際は、本製品のファームウェアバージョンをご確認ください。ファームウェアバージョンは、本体の端末情報表示画面 [〈P.19〉](#)、または Web 設定ページ [〈P.5〉](#) で確認できます。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プロ」および PitTouch ロゴは、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの登録商標です。「スマート・サウンド・タッチ」「Smart Sound Touch」「SSTouch」およびスマート・サウンド・タッチのロゴは、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの商標または登録商標です。
JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に ™ マーク、® マークは明記していません。

もくじ

必ずお読みください	2
はじめに	4
1 Web ブラウザからの設定	5
1.1 設定方法	5
1.2 端末設定	6
1.3 LAN ポート設定	7
1.4 通信モジュール設定	8
1.5 無線 LAN モジュール設定	9
1.6 プロキシ設定	10
1.7 時刻設定	11
1.8 端末情報表示	12
1.9 コンテンツセット	13
1.10 クリア・初期化	14
1.11 ファームウェア更新	15
1.12 設定パスワード変更	16
1.13 イベント・サポートログ	16
1.14 再起動・シャットダウン	17
2 本体からの設定	18
2.1 設定方法	18
2.2 端末情報表示	19
2.3 端末設定	20
2.3.1 音量設定	20
2.3.2 明るさ設定	21
2.3.3 ネットワーク設定	21
2.3.4 時刻設定	29
2.3.5 ログ	30
2.3.6 メインテナンス	32
2.4 再起動	35
2.5 シャットダウン	35
2.6 更新	36
2.6.1 ファームウェア更新	36
2.6.2 コンテンツセット更新	37
2.6.3 ファームウェア更新 (USB)	39
2.6.4 自動更新設定	40
3 USB	41
3.1 内部 USB ポート	41
3.1.1 動作確認済の通信モジュール	41
3.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール	42
3.2 USB ポート	43
3.2.1 動作確認済の ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタ	43
3.2.2 その他の USB 機器	43
4 FAQ	44

はじめに

本製品は、コンテンツプロバイダが開発したコンテンツセットをブラウザベースの実行環境に読み込ませることにより、ユーザーインターフェイス・通信・非接触 IC 等を動作させることができます。
コンテンツセットの動作および更新についての詳細は、販売元へお問い合わせください。

本製品の設定方法

本製品の設定は、以下の 2 通りの方法で行えます。

- パソコンの Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスして行う → [「1 Web ブラウザからの設定」](#) (P.5)
- 本体の液晶タッチパネルから行う → [「2 本体からの設定」](#) (P.18)

MEMO

本体の液晶タッチパネルからは一部の設定のみ行えます。すべての設定を行うためには Web 設定ページをご利用ください。

Web 設定ページで設定および確認できる内容は、以下のとおりです。

- 音量設定／明るさ設定／ファームウェア自動更新設定／コンテンツセット自動更新設定
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定
- 端末情報表示／ネットワーク情報表示／HTTP プロキシ設定表示
- コンテンツセット更新／コンテンツセット設定ファイル更新／プロバイダ設定ファイル更新／コンソールログ表示・削除
- 設定初期化
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベントログ表示／サポートログ取得・削除
- 再起動・シャットダウン

本体の液晶タッチパネルで設定および確認できる内容は、以下のとおりです。

- ネットワーク情報表示／端末情報表示／HTTP プロキシ設定表示
- 音量設定／明るさ設定
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- NTP サーバ設定／NTP 手動同期／手動時刻設定
- ログ保存
- 再起動／シャットダウン
- ファームウェア更新／ファームウェア自動更新設定／コンテンツセット更新／コンテンツセット自動更新設定
- 設定バックアップ／復元
- 端末初期化

1 Web ブラウザからの設定

本製品の設定は、Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスして行います。Web 設定ページにアクセスするには、設定パスワードの入力が必要です。

対応 OS、ブラウザについて

OS : Windows 10 Professional、ブラウザ : Google Chrome 71.0.3578.98 の組み合わせで動作確認をしています。その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

Windows 7 以降で表示できる文字のうち、本製品に設定できない文字があります。

設定ページでは、JavaScript を使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にしてください。



重要

通信モジュールをご利用の場合、通信網から Web 設定ページへのアクセスはできません。Web 設定ページは LAN 接続または無線 LAN 接続にてご利用ください。

1.1 設定方法

本製品を Web ブラウザから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の IP アドレスを確認します。 → [「2.2 端末情報表示」〈P.19〉](#)
2. 本製品と通信ができるように、パソコンのネットワークの設定を行います。
3. パソコンの Web ブラウザを起動し、URL の入力欄に手順 1 で確認した IP アドレスを入力します。
4. ログインダイアログが表示されます。[ユーザー名] に「admin」、[パスワード] に設定パスワードを入力します。

※設定パスワードの初期値は、インストールされているコンテンツセットによって異なります。不明な場合は販売元へお問い合わせください。



重要

お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、Web ブラウザからの設定ではクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。

なお、コンテンツセットでパスワードのクリアが用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、[「■端末初期化」〈P.34〉](#)をご確認ください。

5. Web 設定ページが開きます。

端末設定

端末の設定を行います。

[設定](#)

[音量設定]

本体音量	3	本体の音量を設定します。
キーボード操作音	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	キーボードの操作音を設定します。
SSTouch音量	3	SSTouchの音量を設定します。

[明るさ設定]

明るさ	3	画面の明るさを設定します。
-----	---	---------------

[自動更新設定]

ファームウェア自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しらない	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にファームウェアの自動更新を行います。
コンテンツセット自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しらない	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にコンテンツセットの自動更新を行います。

[設定](#)

以降、左側のメニューから目的の機能を選択して設定を行います。

1.2 端末設定

音量と液晶タッチパネルの画面の明るさを設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。ただし、音声再生中の音量は変更されません。

▼音量設定

本体音量 本体の音量を設定します。(SSTouch 音、強制シャットダウン音を除く)

キーボード操作音 キーボード (別売) の操作音を設定します。ON にすると有効ではないキーが押されたときも音が鳴ります。

SSTouch 音量 SSTouch の音量を設定します。

▼明るさ設定

明るさ 液晶タッチパネルの画面の明るさを設定します。

▼自動更新設定

ファームウェア自動更新	再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。 自動更新サーバについて詳しくは、販売元へお問い合わせください。
コンテンツセット自動更新	再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。 自動更新サーバについて詳しくは、販売元へお問い合わせください。

1.3 LANポート設定

LANポートに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

[IPアドレス設定]		
IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.2"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

▼IPアドレス設定

IPアドレス取得方法	IPアドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCPを使用する場合は、「自動」を選択します。
IPアドレス	IPアドレスを入力します。[IPアドレス取得方法]で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IPアドレス取得方法]で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IPアドレス取得方法]で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリDNSサーバアドレスを入力します。[IPアドレス取得方法]で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。[IPアドレス取得方法]で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

1.4 通信モジュール設定

通信モジュールに関して設定できます。「設定」ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

【通信モジュール設定】		
通信モジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	通信モジュールを使用するかどうかを設定します。
電話番号	<input type="text"/>	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	<input type="text"/>	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	接続に使用するパスワードを設定します。 パスワードを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
ATコマンド	<input type="text"/>	通信モジュール初期化時に実行するATコマンドを設定します。ATから始まるコマンドを入力してください。

▼通信モジュール設定

通信モジュール	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。 ※すでにパスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
AT コマンド	通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「*99#」や「*99***1#」のような形式になります。
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせください。
対応機種については、「3.1.1 動作確認済の通信モジュール」〈P.41〉をご覧ください。

1.5 無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。



ピットタッチ・プロ

[ファームウェアバージョン]

▲ トップページ

設定

- 端末設定
- LANポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線LANモジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定

情報表示

- 端末情報表示

メンテナンス

- コンテンツセット
- クリア・初期化
- ファームウェア更新
- 設定パスワード変更
- イベント・サポートログ
- 再起動・シャットダウン

無線LANモジュール設定

無線LANモジュールに関する設定を行います。

[設定]

[無線LANモジュール設定]		
無線LANモジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	無線LANモジュールを使用するかどうかを設定します。
SSID	<input type="text"/>	SSIDを設定します。
[セキュリティ設定]		
認証・暗号化	<input type="text" value="使わない"/>	認証・暗号化方式を設定します。
[WEP設定]		
WEPキー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	認証・暗号化がWEPの場合、使用するWEPキーを設定します。 WEPキーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
[WPA/WPA2/パーソナル設定]		
WPA共有キー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	認証・暗号化がWPA/パーソナルまたはWPA2/パーソナルの場合、使用するWPA共有キーを設定します。 WPA共有キーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
[IPアドレス設定]		
IPアドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPアドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

[設定]

▼無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュール	無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。

▼セキュリティ設定

認証・暗号化	認証・暗号化の方式をプルダウンメニューから選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES (無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別) を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

▼ WEP 設定

WEP キー	[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で [WEP] を選択した場合に、WEP キーを設定します。変更するときには「変更する」を選択し、5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※すでに WEP キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
--------	--

▼ WPA/WPA2 パーソナル設定

WPA 共有キー	[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、8～63 文字の半角英数字・記号、または 64 桁の 16 進数を入力します。「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。※すでに WPA 共有キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
----------	---

▼ IP アドレス設定

※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、「[1.3 LAN ポート設定](#)」(P.7) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

MEMO

対応機種については、「[3.1.1 動作確認済の通信モジュール](#)」(P.41) をご覧ください。

1.6 プロキシ設定

プロキシに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

▼ HTTP プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
ポート番号	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。変更するときは「変更する」を選択します。※すでに認証パスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。

MEMO

- プロキシ機能は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- 認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- プロキシ自動設定ファイル (PAC ファイル) は、サポートしていません。

1.7 時刻設定

時刻に関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

時刻設定		
時刻の設定を行います。		
[自動時刻合わせ設定]		
NTPサーバ名	<input type="text" value="ntp.jst.mfeed.ad.jp"/>	NTPサーバを設定します。値を設定すると起動後に時刻修正を行い、以後24時間毎に時刻修正を行います。
[手動時刻設定]		
現在時刻	<input type="text" value="2015/12/02 14:37:21"/>	現在設定されている時刻です。
手動設定	<input type="text" value="2015/12/02 14:37:21"/>	時刻を手動で設定します。設定する時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ssという形式で指定します。
[パソコンの時刻から設定]		
パソコンの時刻から設定	<input type="text" value="2015/12/02 14:37:30"/>	時刻をパソコンの時刻に合わせます。

▼自動時刻合わせ設定

NTPサーバ名 NTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後にNTPサーバに接続し、時刻が設定されます。

MEMO

NTPサーバ (Network Time Protocol サーバ) とは、ネットワーク経由でコンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するためのサーバです。本製品は、このサーバを参照することで時刻を合わせます。

MEMO

NTPサーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、1日後になります。失敗すると、1分、3分、5分、10分、30分、60分、以降60分の間隔で時刻合わせを行います。通信モジュールや無線LANモジュールでネットワークを利用している場合、起動直後はNTPサーバに接続できないことがあります。

▼手動時刻設定

現在時刻 現在設定されている時刻が表示されます。(このページを開いた時点の時刻が表示され、更新されません。)

手動設定 「年/月/日 時:分:秒 (YYYY/MM/DD hh:mm:ss)」の形式で時刻を入力します。設定できる範囲は、2010年1月1日0時0分0秒 (2010/01/01 00:00:00) から2037年12月31日23時59分59秒 (2037/12/31 23:59:59) までです。

▼パソコンの時刻から設定

パソコンの時刻から設定 使用しているWebブラウザのJavaScriptがONの場合、パソコンの時刻が表示されます。



本製品の時刻情報の初期値は「2000/1/1 09:00:00」です。

重要

1.8 端末情報表示

端末、ネットワーク、HTTP プロキシに関する内容を確認できます。



端末情報表示

【端末情報】	
端末ID	00000001
MACアドレス	00:00:00:00:00:00
MACアドレス(無線LAN)	
ファームウェアバージョン	[ファームウェアバージョン]
keypadバージョン	
コンテンツセットバージョン	Ver 1.0.0.0

【ネットワーク情報】	
インターフェース	LAN
IPアドレス取得方法	自動
IPアドレス	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.0.1
プライマリDNSサーバアドレス	192.168.0.1
セカンダリDNSサーバアドレス	-

【HTTPプロキシ設定】	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
認証ユーザ名	

※プロキシ設定の認証パスワードは表示されません。

1.9 コンテンツセット

コンテンツセットの更新、コンテンツセット設定ファイルの更新、プロバイダ設定ファイルの更新、コンソールログの表示と削除ができます。



コンテンツセット、コンテンツセット設定ファイル、プロバイダ設定ファイルの更新は、販売元の指示に従って更新してください。

▼更新

コンテンツセット	コンテンツセットの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセットを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません。
コンテンツセット設定ファイル	コンテンツセット設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセット設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません（内部で「setting.txt」に変更されます）。
プロバイダ設定ファイル	プロバイダ設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してプロバイダ設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。ファイル名は任意の名前でかまいません（内部で「providersetting.xml」に変更されます）。

コンテンツセットの更新が開始されても、本体の画面に変化はありません。更新が成功すると、その時点でコンテンツセット画面が表示されていた場合は、強制的にコンテンツセットスタートページに変わります。

コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。



更新中は、[更新] ボタンを何度も押ししたり、他の操作を行わないでください。

また、コンテンツセット、コンテンツセット設定ファイル、プロバイダ設定ファイルの更新を行っても、設定値などはクリアされません。クリアしたい場合は、手動で設定初期化を行います。 → 「1.10 クリア・初期化」〈P.14〉



重要

コンテンツセットの更新中、コンテンツセット設定ファイルの更新中、プロバイダ設定ファイルの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



重要

以下の事象が発生する可能性がありますので、運用中はコンテンツセットを更新しないことをお勧めします。

- ・コンテンツセットのパフォーマンスが大幅に低下する
- ・操作中の動作がクリアされる
- ・コンテンツセットが扱うデータに不整合が発生する



重要

コンテンツセット更新時の挙動をピットタッチ・プロ/プロ2ファームウェアバージョン4.3で変更しています。

- 4.3以前：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除します。
- 4.3以降：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除しません。

▼コンソールログ

コンテンツセットからConsole.infoなどで出力したログや実行環境からのログが表示されます。一番下が新しいログです。

[更新] ボタンを押すとログが更新されます。[削除] ボタンを押すとログが削除されます。

コンソールログは、設定初期化を行っても削除されません。

また、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

MEMO

コンソールログの末尾に記録される「http://localhost/s.js:8」は、コンテンツセット内のファイルと行番号を示しています。ピットタッチ・プロ/プロ2のコンソールログの仕様により、自動的に付加されます。

1.10 クリア・初期化

設定の初期化を行えます。



▼設定初期化

設定初期化 [設定初期化] ボタンを押すと、確認後に設定の初期化が行われます。

設定初期化に成功すると、本体の画面がコンテンツセットスタートページへ遷移します。

初期化される項目は、以下のとおりです。

- ・各設定値
- ・コンテンツセットで使用しているデータベース
- ・設定パスワード

コンテンツセット設定ファイルがある場合は、ファイルに記述された値に初期化されます。

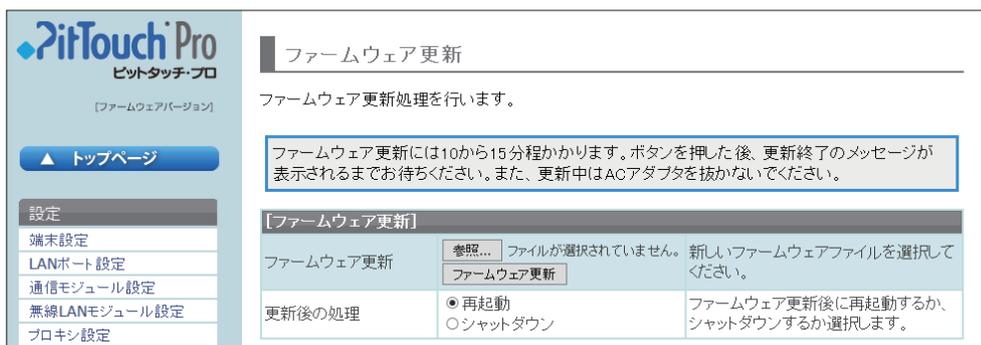


重要

設定初期化を行うと、元には戻せません。ネットワーク設定も初期化されるので、Web 設定ページに接続できなくなる場合があります。

1.11 ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。



▼ファームウェア更新

ファームウェア更新	ファームウェアの更新を行います。[参照] ボタンを押してファームウェアを選択し、[ファームウェア更新] ボタンを押して更新を実行します。
更新後の処理	ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

ファームウェアの更新が開始されると、本体の画面には更新中のメッセージが表示されます。コンテンツセット動作は強制的に中断されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



重要

製品シリアル番号 S/N 02133651 ~ 03145727 のピットタッチ・プロ2 は、ファームウェアバージョン 4.0 未満に更新することができません。



重要

更新中は、[ファームウェア更新] ボタンを何度も押ししたり、他の操作を行わないでください。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やデータベース、コンテンツセットなどはクリアされません。クリアしたい場合は、手で設定初期化を行います。 → 「1.10 クリア・初期化」〈P.14〉



重要

ファームウェアの更新を開始してから本体の画面に更新中のメッセージが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。その間、コンテンツセットを動作させることができますが、パフォーマンスは大幅に低下します。また、操作中の動作がクリアされてしまうため、操作をしていないときにファームウェアを更新することをお勧めします。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。[ファームウェア更新] ボタンを押した後、更新終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

1.12 設定パスワード変更

設定パスワードを変更できます。「設定」ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '設定パスワード変更' (Change Password) screen. On the left is a navigation menu with '設定' (Settings) selected. The main content area has a title '設定パスワード変更' and a description '設定パスワードを変更します。' (Change the password). Below this is a 'パスワード設定' (Password Setting) button. A warning box states: 'パスワードを忘れた場合は本製品にアクセスできなくなりますのでご注意ください。' (If you forget the password, you will not be able to access this product, so please be careful). The main section is titled '【設定パスワード変更】' (Change Password Settings) and contains three rows of input fields: '現在の設定パスワード' (Current password), '設定パスワード' (New password), and '設定パスワード(確認)' (Confirm new password). Each row has a 'パスワード設定' button. The instructions for each field are: '現在の設定パスワード' (Enter the current password), '設定パスワード' (Enter a new password, 4-20 alphanumeric characters), and '設定パスワード(確認)' (Re-enter the new password for confirmation).

▼設定パスワード変更

現在の設定パスワード	現在設定されている設定パスワードを入力します。 ※ 設定パスワードの初期値は、インストールされているコンテンツセットによって異なります。不明な場合は販売元へお問い合わせください。 ※ 現在設定されている設定パスワードは表示されません。
設定パスワード	新しい設定パスワードを入力します。(半角数字 4～20文字まで)
設定パスワード(確認)	確認のため同じ設定パスワードを入力します。



重要

お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、Web ブラウザからの設定ではクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。
なお、コンテンツセットでパスワードのクリアが用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、「**■**端末初期化」(P.34) をご確認ください。

1.13 イベント・サポートログ

イベントログ・サポートログを取得できます。

The screenshot shows the 'イベント・サポートログ' (Event and Support Log) screen. On the left is a navigation menu with '設定' (Settings) selected. The main content area has a title 'イベント・サポートログ' and a description 'イベントログ・サポートログを取得します。' (Get event and support logs). Below this is a 'サポートログ' (Support Log) section with three rows of controls: 'イベントログ表示' (Event log display), 'サポートログ取得' (Support log acquisition), and 'サポートログ削除' (Support log deletion). Each row has a button and a description: 'イベントログ表示' (Event log display) button: 'イベントログを表示します。' (Display event logs); 'サポートログ取得' (Support log acquisition) button: 'サポートに送るためのサポートログを取得します。' (Acquire support logs for sending to support); 'サポートログ削除' (Support log deletion) button: 'サポートログを削除します。イベントログも削除されます。' (Delete support logs. Event logs are also deleted).

▼サポートログ

イベントログ表示	システムで発生した各種ログが表示されます。
サポートログ取得	サポートに送るために必要なサポートログをファイルで取得します。取得したファイルの内容を参照することはできません。
サポートログ削除	サポートログを削除します。イベントログも同時に削除されます。

サポートログは、設定初期化を行っても削除されません。
また、イベントログは、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

MEMO

上記の操作を行うと、一時的にコンテンツセットのパフォーマンスに影響が出る場合があります。

1.14 再起動・シャットダウン

再起動またはシャットダウンができます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、再起動時またはシャットダウンの前に自動更新が行われます。自動更新に失敗してもエラーなどは表示されず、再起動・シャットダウンが行われます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新について詳しくは、販売元へお問い合わせください。



▼再起動・シャットダウン

再起動	[再起動] ボタンを押すと、再起動されます。ファームウェアの更新中、コンテンツセットの更新中・クリア中などのタイミングでは再起動できません。
シャットダウン	[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウンの後、電源が OFF になります。ファームウェアの更新中、コンテンツセットの更新中・クリア中などのタイミングではシャットダウンできません。



重要

電源を OFF にするときは、本製品の機能選択画面からシャットダウンを行ってください。動作中に AC アダプタを抜いたり、いきなり電源を OFF にすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを 10 秒以上続けて押さないでください。

- ・ファームウェア自動更新中
- ・再起動中
- ・コンテンツセット自動更新中
- ・シャットダウン中

2 本体からの設定

一部の操作と簡易な設定は本体の液晶タッチパネルから行えます。

2.1 設定方法

本体の液晶タッチパネルから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の電源を ON にします。
2. 本製品が利用可能状態になったら、電源ボタンを 2 秒以上押します。

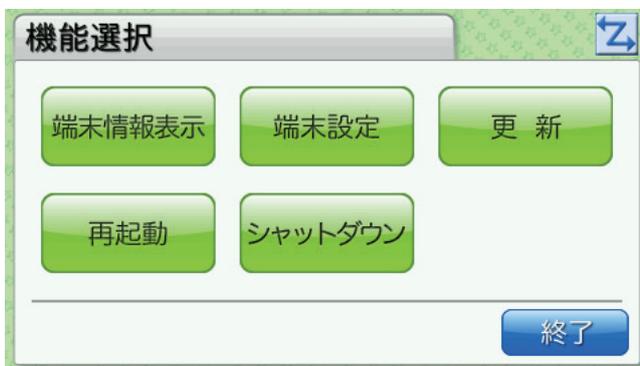


重要

電源を OFF にするときは、本製品の機能選択画面からシャットダウンを行ってください。動作中に AC アダプタを抜いたり、いきなり電源を OFF にすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを 10 秒以上続けて押さないでください。

- ・コンテンツセットの更新中
- ・コンテンツセットのクリア中
- ・コンテンツセット設定ファイルの更新中
- ・プロバイダ設定ファイルの更新中
- ・ファームウェアの更新中
- ・再起動中
- ・本製品のシャットダウン中

3. 機能選択画面が表示されます。



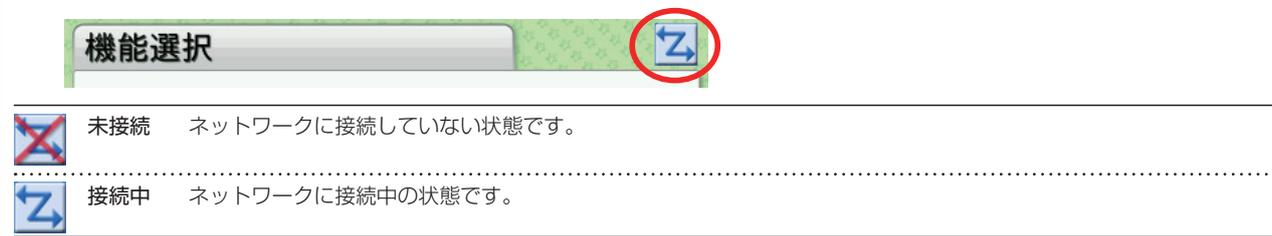
以降、目的の機能のボタンを押して設定を行います。

MEMO

機能選択画面および他の画面で [終了] ボタンを押すと、コンテンツセットスタートページに戻ります。

MEMO

機能選択画面および他の画面の右上には、ネットワークの接続状態を示すアイコンが表示されます。



MEMO

下記の状態をすべて満たす場合に、接続中の状態になります。

- ・有線 LAN ケーブル、通信モジュールおよび無線 LAN モジュールを接続して認識している状態
- ・IP アドレス取得方法が「自動」のときに IP アドレスを取得している状態

接続中の状態でも、DNS サーバにアクセスできない、ファイアウォールで経路が遮断されている等の理由で通信できない場合があります。

通信できないときは、ネットワークやルータの設定を確認してください。

2.2 端末情報表示

機能選択画面で「端末情報表示」ボタンを押すと、端末情報表示画面が表示されます。ネットワーク情報、端末情報およびHTTPプロキシ設定を確認できます。

端末情報表示画面には3つの画面があり、「◀」ボタンと「▶」ボタンで切り替えられます。



※[端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] は、本製品に対応している無線 LAN モジュールが接続されている場合にのみ表示されます。

※[ネットワーク情報] は最新の情報が表示されるまでに時間がかかる場合があります。その場合は、古い情報が表示されることがあります。

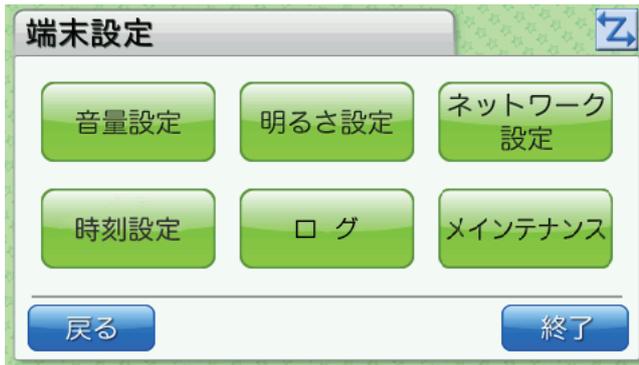
※[HTTP プロキシ設定] には認証パスワードは表示されません。

MEMO

無線 LAN モジュールを接続後、[端末情報] の [MAC アドレス (無線 LAN)] に「0000.0000.0000.0000」と表示されることがあります。その場合、無線 LAN モジュール設定画面の [リストから選択] ボタン (P.23) を押して無線 LAN アクセスポイントのリストを表示すると、[MAC アドレス (無線 LAN)] が正しく表示されるようになります。

2.3 端末設定

機能選択画面で [端末設定] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。



[ネットワーク設定] ボタンまたは [メンテナンス] ボタンを押すと、設定パスワード認証画面が表示されます。設定パスワード (P.16) を入力します。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



設定パスワードの初期値は、インストールされているコンテンツセットによって異なります。不明な場合は販売元へお問い合わせください。



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、Web ブラウザからの設定ではクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。
なお、コンテンツセットでパスワードのクリアが用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、「**■端末初期化**」(P.34) をご確認ください。

正しい設定パスワードを入力して [OK] ボタンを押すと、ネットワーク設定画面 (P.21) またはメンテナンス画面 (P.32) が表示されます。

[戻る] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。

2.3.1 音量設定

端末設定画面で [音量設定] ボタンを押すと、音量設定画面が表示されます。音量を設定できます。



2.3.2 明るさ設定

端末設定画面で [明るさ設定] ボタンを押すと、明るさ設定画面が表示されます。液晶タッチパネルの画面の明るさを設定できます。



2.3.3 ネットワーク設定

端末設定画面で [ネットワーク設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ネットワーク設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押して設定を行います。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



■ LANポート設定

ネットワーク設定画面で [LANポート設定] ボタンを押すと、LANポート設定画面が表示されます。LANポートに関して設定できます。



IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(IP アドレス入力画面の例)

入力後 [OK] ボタンを押すと LAN ポート設定画面に戻ります。

LAN ポート設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■通信モジュール設定

ネットワーク設定画面で [通信モジュール設定] ボタンを押すと、通信モジュール設定画面が表示されます。通信モジュールに関して設定できます。

通信モジュール 通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。

電話番号 接続先電話番号を設定します。

ユーザ名 接続に使用するユーザ名を設定します。

パスワード 接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。現在の設定値は表示されません。

AT コマンド 通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

※ 通信モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(電話番号入力画面の例)



(ユーザ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと通信モジュール設定画面に戻ります。
通信モジュール設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「*99#」や「*99***1#」のような形式になります。
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせください。

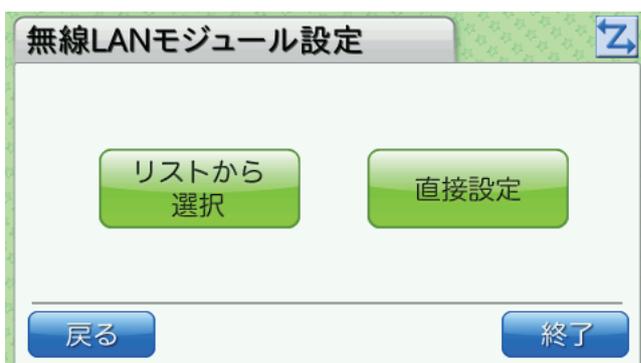
MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■無線 LAN モジュール設定

ネットワーク設定画面で [無線 LAN モジュール設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定 (設定方法の選択) 画面が表示されます。無線 LAN モジュールに関して設定できます。

使用可能な無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定する場合は [リストから選択] ボタン、SSID や IP アドレスを入力して設定する場合は [直接設定] ボタンを押して設定します。

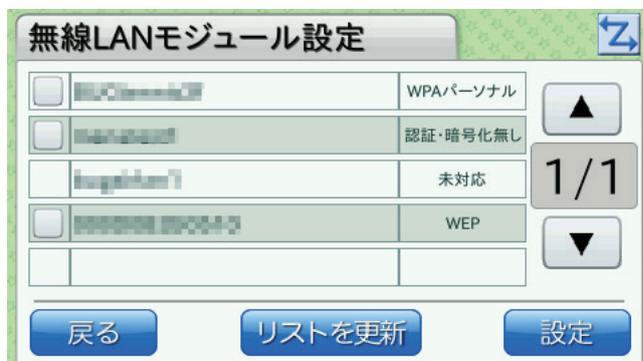


▼無線 LAN モジュール設定（リストから選択）

無線 LAN モジュール設定（設定方法の選択）画面で [リストから選択] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（リストから選択）画面が表示されます。

無線 LAN アクセスポイントが検出され、リストが表示されます。検出された無線 LAN アクセスポイントが 1 画面に収まらない場合は、[▲] ボタンと [▼] ボタンで画面を切り替えられます。

設定したい無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されていない場合は、[リストを更新] ボタンを押すと無線 LAN アクセスポイントが再検出されます。



リストには、無線 LAN アクセスポイントの SSID と認証・暗号化方式が表示されます。

・認証・暗号化方式が「WEP/WPA パーソナル /WPA2 パーソナル」の場合

アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、認証キー入力画面が表示されます。

(WPA 共有キー入力画面の例)



認証キーを入力後 [OK] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

※認証キー入力画面では一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

・認証・暗号化方式が「なし」の場合

アクセスポイントを選択して [設定] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

・認証・暗号化方式が「未対応」の場合

アクセスポイントが選択できません。

MEMO

ステルスモードの無線 LAN アクセスポイントや Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントは、リストに表示されないことがあります。

MEMO

無線 LAN アクセスポイントをリストから選択して設定を行うと、自動的に以下のように設定されます。

- ・無線 LAN モジュール：使用する
- ・IP アドレス取得方法：自動

IP アドレスの設定などを変更したい場合は、「▼無線 LAN モジュール設定（直接設定）」〈P.25〉から設定してください。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

▼無線 LAN モジュール設定（直接設定）

無線 LAN モジュール設定画面（設定方法選択画面）で [直接設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面が表示されます。

無線 LAN モジュール設定（直接設定）画面には 3 つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。

無線 LAN モジュール	使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
認証・暗号化	認証・暗号化の方式を選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK (Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES（無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別）を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

WEP キー	[認証・暗号化] で [WEP] を選択した場合に、WEP キーを設定します。5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。[WEP] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、[WEP] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
WPA 共有キー	[認証・暗号化] で [WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。8 ~ 32 文字の半角英数字・記号を入力します。[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。また、[WPA パーソナル] [WPA2 パーソナル] 以外を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※無線 LAN モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32 文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33 文字以上入力したりしたいときは、Web 設定ページから設定してください。

※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です。LAN ポートの IP アドレス設定については、「[LAN ポート設定](#)」(P.21) を参照してください。

IP アドレス取得方法	IP アドレスを「自動」「手動」から選択します。DHCP を使用する場合は、「自動」を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
プライマリ DNS サーバ アドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。
セカンダリ DNS サーバ アドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IP アドレス取得方法] で「自動」を選択した場合は、この設定は使用しません。「手動」を選択した場合に設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(SSID 入力画面の例)

(IP アドレス入力画面の例)

入力後 [OK] ボタンを押すと、それぞれの設定画面に戻ります。IP アドレス設定の画面にある [設定] ボタンを押すと、無線 LAN モジュール設定のすべての設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■プロキシ設定

ネットワーク設定画面で [プロキシ設定] ボタンを押すと、HTTP プロキシ設定画面が表示されます。HTTP プロキシに関して設定できます。

HTTPプロキシ設定	
プロキシ機能	<input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する
サーバ名	111.222.111.222 変更
ポート番号	8080 変更
認証ユーザ名	admin 変更
認証パスワード	***** 変更
戻る 設定	

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェイスに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、32 文字までしか入力できません。33 文字以上入力したいときは、Web 設定ページから設定してください。
ポート番号	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。 ※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(サーバ名入力画面の例)

サーバ名

abc a b c d e f 後退

ABC g h i j k l 取消

123 m n o p q r

記号 s t u v w x

y z ← → _ OK

(ポート番号入力画面の例)

ポート番号

1 2 3 後退

4 5 6

7 8 9 取消

← 0 → OK

入力後 [OK] ボタンを押すと、HTTP プロキシ設定画面に戻ります。HTTP プロキシ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

- プロキシ機能は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- 認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- プロキシ自動設定ファイル (PAC ファイル) は、サポートしていません。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■ NTP サーバ設定

ネットワーク設定画面で [NTP サーバ設定] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面が表示されます。NTP サーバに関して設定できます。



NTP サーバ名 NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後に NTP サーバに接続し、時刻が設定されます。
※ NTP サーバ設定画面から設定する場合、32 文字までしか入力できません。33 文字以上入力したいときは、Web 設定ページから設定してください。

[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

MEMO

NTP サーバ (Network Time Protocol サーバ) とは、ネットワーク経由でコンピュータの内部時計を調整するプロトコルを使用して、正しい時刻を取得するためのサーバです。本製品は、このサーバを参照することで時刻を合わせます。

MEMO

NTP サーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、1 日後になります。
失敗すると、1 分、3 分、5 分、10 分、30 分、60 分、以降 60 分の間隔で時刻合わせを行います。
通信モジュールや無線 LAN モジュールでネットワークを利用している場合、起動直後は NTP サーバに接続できないことがあります。

(NTP サーバ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、NTP サーバ設定画面に戻ります。NTP サーバ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

2.3.4 時刻設定

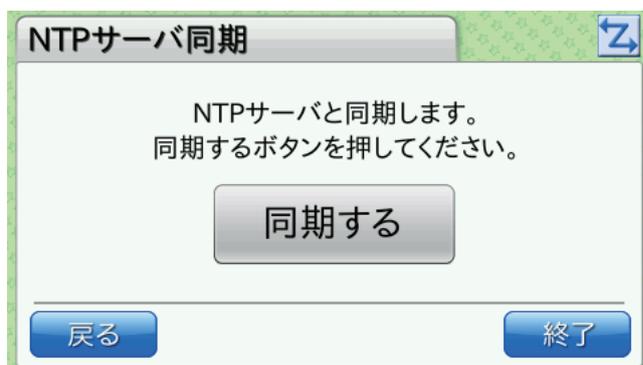
端末設定画面で [時刻設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、時刻設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押しして設定を行います。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



■ NTP サーバ同期

時刻設定画面で [NTP サーバ同期] ボタンを押すと、NTP サーバ同期画面が表示されます。設定されている NTP サーバに接続して、時刻合わせを行います。



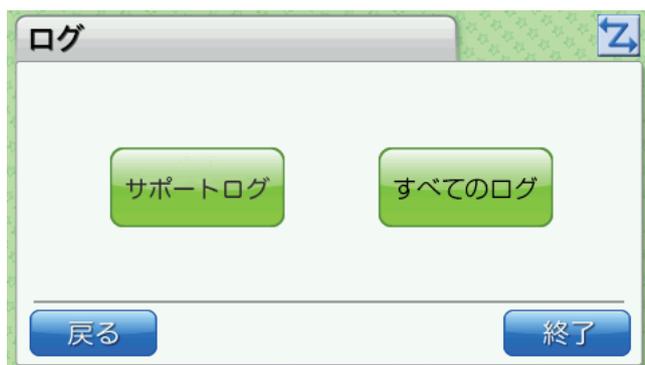
■ 手動設定

時刻設定画面で [手動設定] ボタンを押すと、時刻手動設定画面が表示されます。年月日時分秒を入力して、時刻合わせを行います。年月日時分秒は、上下ボタンを押しして入力します。



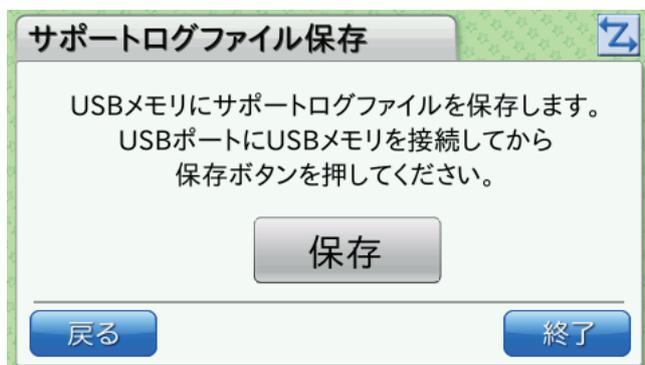
2.3.5 ログ

端末設定画面で [ログ] ボタンを押すと、ログ画面が表示されます。目的のボタンを押して、ログを USB メモリに保存します。



■サポートログ

ログ画面で [サポートログ] ボタンを押すと、サポートログファイル保存画面が表示されます。USB ポートに USB メモリを挿入し、[保存] ボタンを押すと、USB メモリにサポートログファイルを保存します。



MEMO

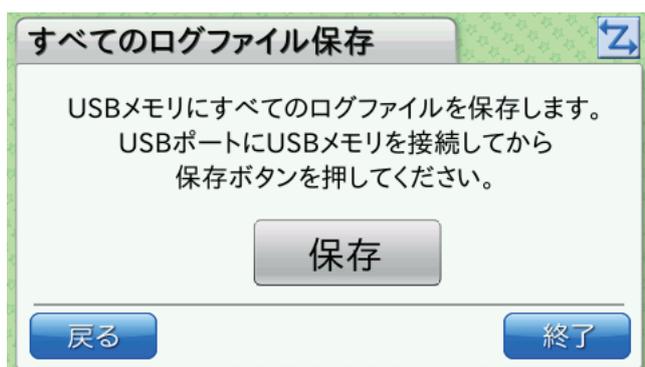
USB メモリの root にサポートログファイルが保存されます。
ファイル名は「supportlog_[端末 ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].bin」になります。
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。
サポートログは、お客様で参照することはできません。弊社サポートで解析するためのログになります。

■すべてのログ

ログ保存画面で [すべてログ] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、すべてのログファイル保存画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。

USB ポートに USB メモリを挿入し、[保存] ボタンを押すと、USB メモリにサポートログ、イベントログ、コンソールログの各ファイルを保存します。



MEMO

USB メモリの root に各ログファイルが保存されます。

ファイル名は、以下になります。

サポートログ：「supportlog_[端末 ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].bin」

イベントログ：「eventlog_[端末 ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].txt」

コンソールログ：「consolelog_[端末 ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].txt」

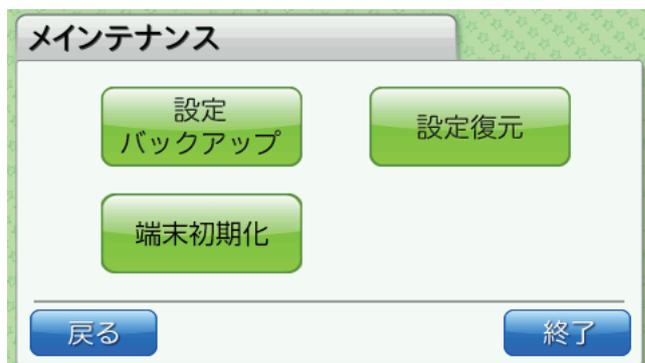
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。

サポートログは、お客様で参照することはできません。弊社、サポートで解析するためのログになります。

イベントログ、コンソールログは、お客様で参照することができます。

2.3.6 メインテナンス

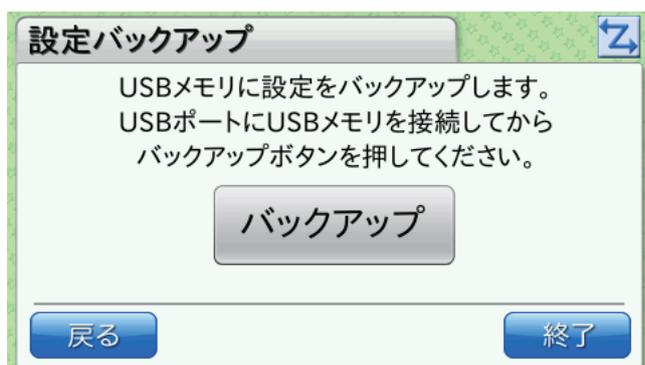
端末設定画面で [メインテナンス] ボタンを押すと、メインテナンス画面が表示されます。
USB メモリへの設定のバックアップ、USB メモリからの設定の復元、端末初期化ができます。



■設定バックアップ

メインテナンス画面で [設定バックアップ] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定バックアップ画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



USB メモリに現在の設定値をバックアップする場合は、USB ポートに USB メモリを接続し、[バックアップ] ボタンを押します。
バックアップファイルが USB メモリに保存されます。

以下の設定がバックアップされます。

- 端末設定 (音、明るさ、自動更新)
- LAN ポート設定
- 通信モジュール設定
- 無線 LAN モジュール設定
- プロキシ設定
- 時刻設定
- 設定パスワード
- プロバイダ設定ファイル



重要

以下の設定および情報はバックアップされません。

- コンテンツセット設定ファイル
- コンソールログ
- ファームウェア更新確認サーバ URL
- [端末設定パスワード認証] の有効設定
- コンテンツセット更新確認サーバ URL
- [パスワード付きコンテンツセット機能] の有効設定



重要

バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

MEMO

バックアップファイルは USB メモリ内のルートフォルダにファイル名「PitTouchPro.set」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きします。
また、バックアップファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。

MEMO

バックアップファイルの作成日時および上書きする際の更新日時には、UTC 時間を採用しています。

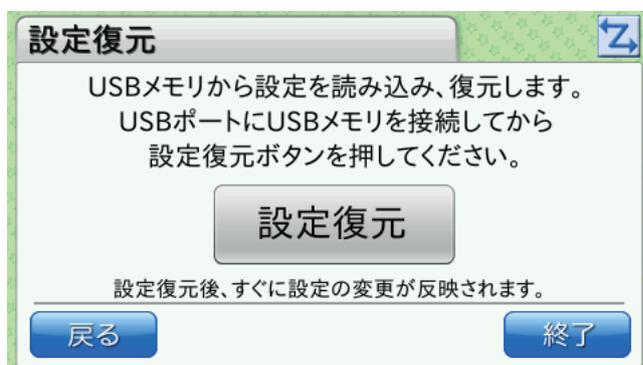


Version 4.3 以降に保存したバックアップファイルは、Version4.3 以前で復元することができません。
また、バックアップ時のコンテンツセットやコンテンツセットのバージョンと異なるものに復元した場合、正しく動作しない場合があります。

■設定復元

メンテナンス画面で [設定復元] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定復元画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



USB メモリから設定値を読み込んで本製品に復元する場合は、バックアップファイルを保存した USB メモリを USB ポートに接続し、[設定復元] ボタンを押します。



バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

■端末初期化

すべての設定やデータを削除して工場出荷状態にします。

端末初期化を行うには、設定パスワードとは別の端末初期化パスワードが必要です。

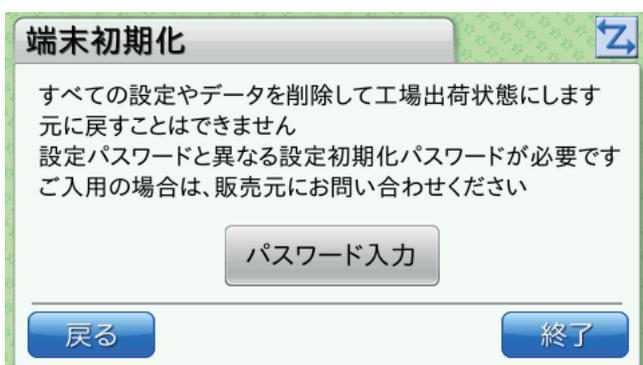
端末初期化パスワードは、端末ごとに異なります。用途に応じて端末初期化パスワードを発行いたします。製品シリアル番号、用途とともに販売元にお問い合わせください。

端末初期化は、以下の用途でご利用いただけます。

- 1) すべての設定を初期化したい
- 2) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除し別のコンテンツセットをインストールしたい
- 3) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除し CTS パッケージをインストールしたい
※ CTS パッケージとは、バージョンが CTS から始まる弊社で作成したコンテンツセットのことです。

メンテナンス画面で [端末初期化] ボタンを押すと、端末初期化画面が表示されます。

端末初期化は、LAN ケーブル、無線 LAN アダプタ、通信モジュールなどネットワークをはずした状態で行ってください。処理時間は、約 30 秒ほどです。完了後は、再起動ボタンを押して再起動します。



重要

端末初期化後は、設定を元に戻すことができません。

コンテンツセットの削除をともなう端末初期化を行う場合は、あらかじめインストールするコンテンツセットをご用意することをおすすめします。

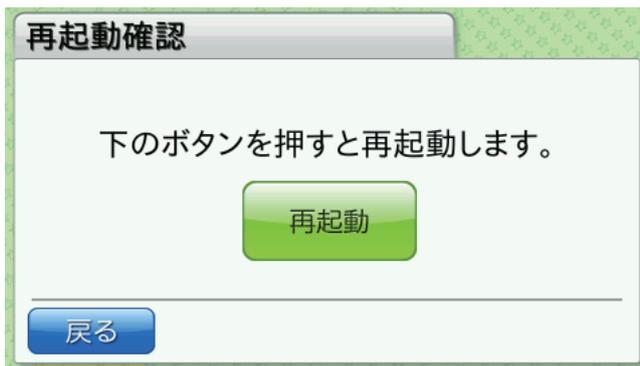


重要

端末初期化中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、端末初期化中に AC アダプタを抜かないでください。

2.4 再起動

機能選択画面で [再起動] ボタンを押すと、再起動確認画面が表示されます。



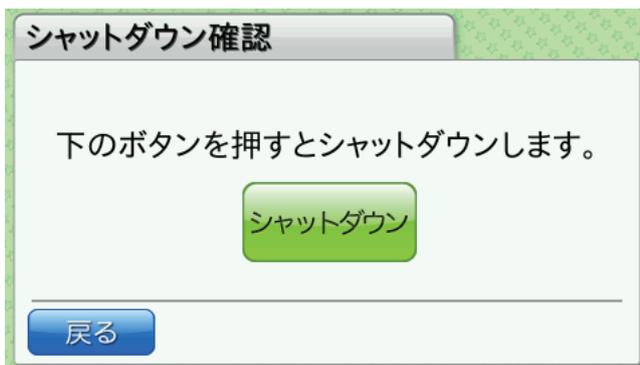
[再起動] ボタンを押すと再起動されます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、再起動の前に自動更新が行われます。自動更新に失敗してもエラーなどは表示されず、再起動されます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新について詳しくは、販売元へお問い合わせください。

2.5 シャットダウン

機能選択画面で [シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン確認画面が表示されます。



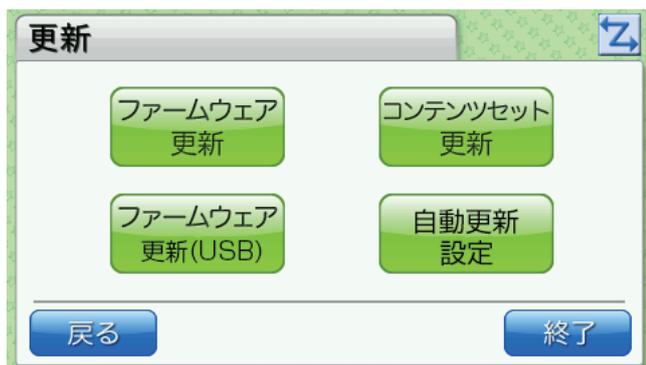
[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン動作が行われ、電源が OFF になります。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、シャットダウンの前に自動更新が行われます。自動更新に失敗してもエラーなどは表示されず、シャットダウンされます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新について詳しくは、販売元へお問い合わせください。

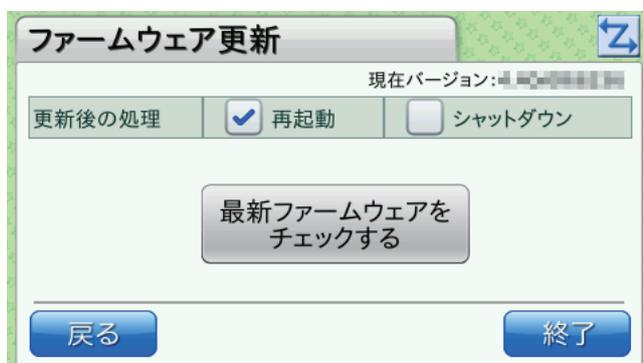
2.6 更新

機能選択画面で [更新] ボタンを押すと、更新画面が表示されます。



2.6.1 ファームウェア更新

更新画面で [ファームウェア更新] ボタンを押すと、ファームウェア更新画面が表示されます。

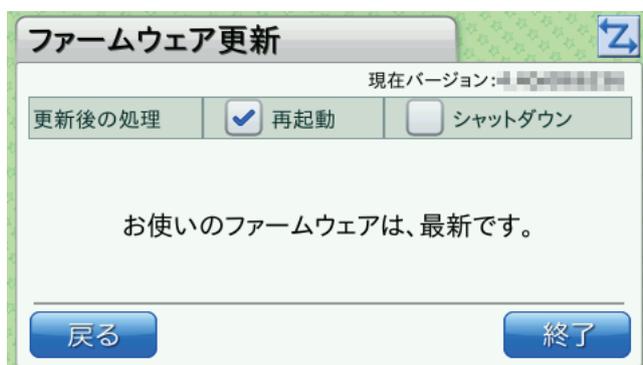


更新後の処理 ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

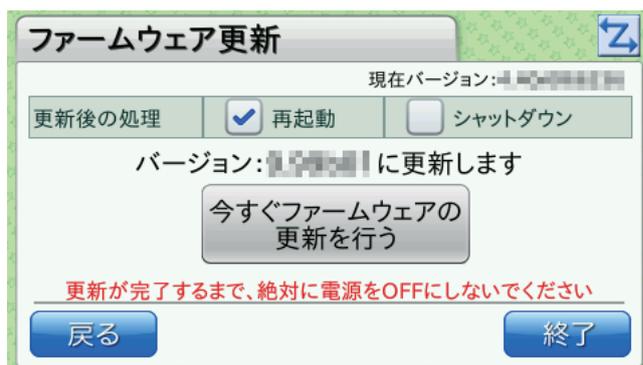
▼ファームウェアのダウンロード・手動更新

ファームウェアを手動でサーバからダウンロードして更新する場合は、[最新ファームウェアをチェックする] ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるファームウェアが最新バージョンのときは、「お使いのファームウェアは、最新です」と表示されます。



本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。

2.6.2 コンテンツセット更新

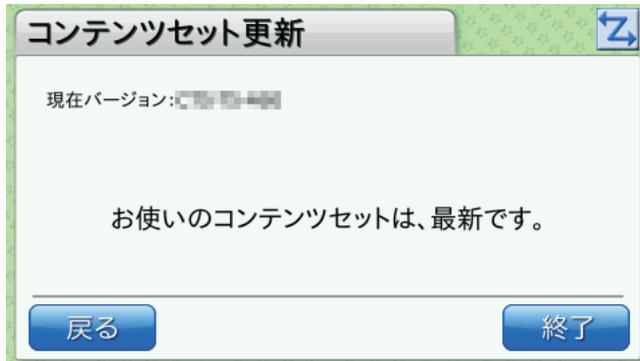
更新画面で [コンテンツセット更新] ボタンを押すと、コンテンツセット更新画面が表示されます。



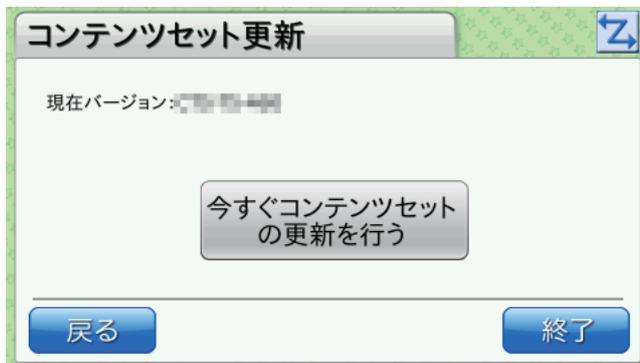
▼コンテンツセットのダウンロード・手動更新

コンテンツセットを手動でサーバからダウンロードして更新する場合は、[最新コンテンツセットをチェックする] ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるコンテンツセットが最新バージョンのときは、「お使いのコンテンツセットは、最新です」と表示されます。



本製品内部のコンテンツセットより新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにある場合は、[今すぐコンテンツセットの更新を行う] ボタンが表示されます。



[今すぐコンテンツセットの更新を行う] ボタンを押すと、コンテンツセットの更新が行われます。コンテンツセットの更新が開始されると、本体の画面には更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。更新に成功すると、更新されたコンテンツセットを開始します。



重要

コンテンツセットの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

コンテンツセット更新時の挙動をピットタッチ・プロ/プロ2 ファームウェアバージョン 4.3 で変更しています。

- 4.3 未満：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除します。
- 4.3 以降：設定されているプロバイダ設定ファイルは、削除しません。

2.6.3 ファームウェア更新 (USB)

更新画面で [ファームウェア更新 (USB)] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ファームウェア更新 (USB) 画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。

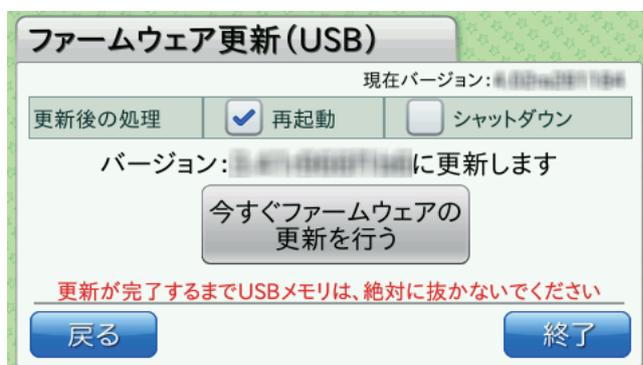


ファームウェアを USB メモリから更新する場合は、USB ポートにファームウェアが入っている USB メモリを挿入し、[USBメモリのファームウェアを確認する] ボタンを押します。USB メモリ内のファームウェアを確認します。

本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアが USB メモリにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。

MEMO

ファームウェアは、USB メモリのルートフォルダに配布時のままのファイル名で置いてください。
ファイル名は「pro#_#[ファームウェアバージョン]#.pkg」のようになります。
複数のファームウェアファイルがあるときは、最新のファームウェアで更新します。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。

ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。

更新に成功すると指定した設定により再起動/シャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やデータベース、コンテンツセットなどはクリアされません。クリアしたい場合は、Web 設定ページから設定初期化およびコンテンツセットクリアを行います。 → [1.10 クリア・初期化] (P.14)



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には 10 ~ 15 分程度かかります。
更新が完了するまで USB メモリは、絶対に抜かないでください。

2.6.4 自動更新設定

更新画面で [自動更新設定] ボタンを押すと、自動更新設定画面が表示されます。

自動更新設定		
ファームウェア自動更新	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
コンテンツセット自動更新	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
戻る 終了		

ファームウェア自動更新 再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

コンテンツセット自動更新 再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

3 USB

本製品には、2つのUSBポートがあります。背面カバー内にある内部USBポートと、背面にあるUSBポートです。詳しくは付属の取扱説明書を参照してください。



本製品のUSBポートと内部USBポート、または、USBハブなどを使用して同じ種類のUSB機器を接続しないでください。例えば、以下の組み合わせで接続した場合、正常に動作しない場合があります。

- ・無線LANモジュールと通信モジュールの組み合わせ
 - ・USBメモリとUSBメモリの組み合わせ
 - ・レシートプリンタとレシートプリンタの組み合わせ
- など

MEMO

ピットタッチ・プロファームウェアバージョン4.42で動作確認している機器を記述しています。お使いのバージョンによっては動作しない場合があります。お使いのピットタッチ・プロファームウェアバージョンをご確認の上、ご利用ください。

3.1 内部USBポート

内部USBポートは、主にUSB型の通信モジュールまたは無線LANモジュールを接続します。内部USBポートは、USB機器を本製品に格納して背面カバーで覆うことができますので、チリ・ホコリの防止や盗難防止に便利です。

3.1.1 動作確認済の通信モジュール

現在弊社環境で動作確認済のUSB型通信モジュールは、以下のとおりです。

- ・NTTドコモ社製 L-05A、L-08C、L-03D
- ・ソフトバンク社製 C02SW、C02HW、C02LC、005HW
403ZT、203HW、604HW（※1）、A002ZT（※1）
- ・ネクス社製 UX312NC、UX302NC-R（※2）
- ・富士ソフト社製 FS020U、FS040U（※1）

※最新の動作確認済の通信モジュールは、弊社Webページでご確認ください。

※上記は弊社で接続可否の検証を行った通信モジュールであり、設置環境における接続性や動作の保証をするものではありません。ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用ください。

上記のUSB型通信モジュールは、あらかじめ本体の設定、Web設定ページにて通信モジュール設定を行ってからご利用ください。
→ [「1.4 通信モジュール設定」〈P.8〉](#)

※1 本製品に接続する前に通信モジュールをパソコンなどに接続してモデムモード（RASモード）への切り替えを行なってください。モデムモード（RASモード）以外では、接続できません。切り替え方法については、通信モジュールのマニュアル等を参照するか、メーカーへお問い合わせください。

※2 UX302NC-Rを本製品で動作するには、以下の設定が必要です。

- ・UX302NC-RをWindows機に接続し、「UX302NC Data Connection Manager」をインストールします。
- ・UX302NC Data Connection ManagerからUX302NC-Rに以下の設定を行います。
 - ・接続タイプ > 接続方式（モデムモード）：RAS(Modem)
 - ・本体情報・設定 > インストールモード：無効

なお、UX302NC-RやUX302NC Data Connection Managerの操作については、メーカーへお問い合わせください。



重要

通信モジュールによっては、通信モジュール設定の「AT コマンド」を設定しないと動作しない場合があります。

- 通信モジュールに接続先（APN）設定がある場合
AT コマンド： AT (L-03D は、ATH)
- 通信モジュールに接続先（APN）設定がない場合
APN 登録を行う以下の AT コマンドを設定します。
AT コマンド： AT+CGDCONT=[CID],"IP", "[APN 名]"

[CID]： 1 ～ 16、通信モジュール内に登録する接続先（APN）を管理する番号です。
電話番号で使われます。
cid=1 の電話番号は、「*99#」または「*99***1#」になります。

[APN 名]： ご利用のプロバイダ契約で指定されている APN 名になります。

MEMO

LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュールでの接続はしません。



重要

通信モジュールをご使用の場合は、ファームウェア自動更新などで通信データサイズが大きくなる場合があります。
有線 LAN または無線 LAN を利用して更新することを強くお勧めします。



重要

通信モジュールによっては、初期設定が必要な場合があります。パソコンなどで初期設定を行ってからご利用ください。

3.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール

現在弊社環境で動作確認済の USB 型無線 LAN モジュールは、以下のとおりです。

- | | |
|----------------------|---|
| • アイ・オー・データ機器社製 | WN-G150UM、WNPU1167M、EX-WNPU1167M、WN-S150UM |
| • ブラネックスコミュニケーションズ社製 | GW-USNANO2A、GW-900D |
| • エレコム社製 | WDC-867DU3S、WDC-300SU2SBK、WDC-150SU2M
WDC-867DU3S2 |

※ 最新の動作確認済の無線 LAN モジュールは、弊社 Web ページでご確認ください。

※ 上記は弊社で接続可否の検証を行った無線 LAN モジュールであり、設置環境における接続性や動作の保証をするものではありません。ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用ください。

上記の USB 型無線 LAN モジュールは、あらかじめ本体の設定、Web 設定ページにて無線 LAN モジュール設定を行ってからご利用ください。

→ 「1.5 無線 LAN モジュール設定」〈P.9〉

MEMO

LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、無線 LAN モジュールでの接続はしません。

3.2 USB ポート

USB ポートは、主に ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタ、USB メモリおよび外部機器を接続します。

3.2.1 動作確認済の ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタ

現在弊社環境で動作確認済の ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタは、以下のとおりです。

- セイコーエプソン社製 TM885US001、TM885US111
- シチズンシステム製 CT-S651S3UBJ
- スター精密社製 FVP10

※すべての ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタで動作するとは限りません。事前に検証することをお勧めします。

MEMO

本製品に接続する ESC/POS 準拠 USB レシートプリンタは、ラスタビットイメージ印刷コマンドをサポートしている必要があります。

3.2.2 その他の USB 機器

その他の USB 機器は、以下のとおりです。

- keypad (型番 : BKPD20)
- HID クラスのキーボード、テンキー (※ 1)
- HID クラスのバーコードリーダー (※ 1)
- USB メモリ (FAT、MBR) (※ 1、※ 2、※ 3)

※ 1 すべての機器で動作するとは限りません。事前に検証することをお勧めします。

※ 2 指紋認証付きなどの特殊な USB メモリは除きます。

※ 3 パーティション形式は、MBR に対応しています。GPT には対応していません。

4 FAQ

■本体

●使用中に勝手に電源がオフになった

- AC アダプターと本体の接続状態を確認してください。
- 電源タップや電源コードがしっかり接続されているか確認してください。
- 電源タップや電源コード、AC アダプターの断線など、故障がないことを確認してください。
- コンテンツセットから電源がオフが指示されていないか、確認してください。

●液晶タッチパネルの操作ができなくなった

- 次の方法でコンテンツセットをリセットしてください。電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [終了] ボタンを押すと、コンテンツセットのスタートページに戻ります。

●設定パスワードが分からなくなってしまった

- 設定パスワードを忘れた場合は、「**■端末初期化**」〈P.34〉をご確認ください。

●時刻を設定したい

- 時刻を設定するには、NTP サーバと時刻同期する方法と手動で設定する方法があり、Web ブラウザまたは、本体から行います。
 - ・ Web ブラウザから時刻を設定する。〔1.7 時刻設定〕〈P.11〉
 - ・ 本体で時刻を設定する。〔2.3.4 時刻設定〕〈P.29〉

■ネットワーク

●使用している IP アドレスを知りたい

- 本体の電源ボタンを 2 秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [端末情報表示] ボタンを押すと、IP アドレスが表示されます。〈P.43〉

● Web 設定ページにアクセスできない

- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- 使用している IP アドレスを確認してください。
- 使用しているブラウザの変更や、キャッシュのクリアを行ってください。

● NTP サーバを設定しても、時刻が設定されない

- NTP サーバが正しく設定されているか確認してください。
 - 〔1.7 時刻設定〕〈P.11〉
 - 〔**■NTP サーバ設定**〕〈P.28〉
- ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
- インターネットに接続できるか確認してください。
- ご利用のネットワークで NTP に使用するポート番号 (123) が制限されていないか確認してください。

■ USB / 通信モジュール

● USB メモリへの設定バックアップができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリは書き込み可能な状態ですか？
USB メモリにライトプロテクトがかかっている場合、設定をバックアップできません。
- USB メモリの空き容量は十分ですか？
設定バックアップには数キロバイト程度の空き容量が必要です。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- パーティション形式は、MBR のみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

● USB メモリからの設定復元ができない

- USB ポートに USB メモリが接続されていますか？
- USB メモリのルートフォルダに設定ファイル「PitTouchPro.set」がありますか？
- 設定ファイルの内容を変更すると、設定を復元できません。
- FAT フォーマットの USB メモリのみ利用できます。
- USB メモリを USB ポートから外し、再び接続してください。

● 通信モジュール、無線 LAN モジュールを使用して通信ができない

- ピットタッチ・プロ/プロ2に LAN ケーブルを接続していませんか？
LAN ケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュール、無線 LAN モジュールでの接続はしません。
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールを一度外し、再び接続してください。
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールがピットタッチ・プロ/プロ2で対応している機種が確認してください。
[3.1.1 動作確認済の通信モジュール] <P.41 >
[3.1.2 動作確認済の無線 LAN モジュール] <P.42 >
- 通信モジュール、無線 LAN モジュールに対応した設定が正しくできているか確認してください。
[1.4 通信モジュール設定] <P.8 >
[1.5 無線 LAN モジュール設定] <P.9 >
[■通信モジュール設定] <P.22 >
[■無線 LAN モジュール設定] <P.23 >
- 通信モジュールの一部では、モデムモードに変更する必要があります。
[3.1.1 動作確認済の通信モジュール] <P.41 >
- パソコンなどの他の対応機器に接続して、正しく動作できているか確認してください。
- ・無線 LAN モジュールの場合
 - 利用するネットワークで、端末や時間帯での接続制限や認証、ネットフィルタリングなどの利用制限がないことを確認してください。
 - 複数の無線 LAN を利用している環境ではありませんか？
電波干渉が発生している可能性があります。設置場所や利用する周波数帯の変更、アクセスポイントで利用するチャンネルの変更をお試しください。
 - 電波が十分に届いていない可能性があります。
無線 LAN アクセスポイントの見通しの良い、障害物の少ない場所に移動してご利用ください。
- 端末設定からの設定で、無線 LAN アクセスポイントがリストに表示されない
 - ステルスモードや、Any 接続拒否が設定された無線 LAN アクセスポイントはリストに表示されないことがあります。
リストに表示されないときは、「直接設定」で SSID を指定して無線 LAN モジュール設定を行ってください。
 - 無線 LAN アクセスポイントの通信エリア外の可能性があります。
 - 一時的に電波が届いていない可能性があります。
[リストを更新] ボタンを押し、無線 LAN アクセスポイントを再検出してください。

■非接触 IC

●非接触 IC カードをかざしても反応しない

- 本体の非接触 IC 読み取り部と非接触 IC カードが重なるようにかざしてください。
- 複数枚の非接触 IC カードをかざしていないことを確認してください。

■更新

●ファームウェアが自動更新されない

- ファームウェア自動更新設定が「する」になっていますか？
再起動時またはシャットダウン時に自動的にファームウェアの更新を行うには、Web 設定ページおよび本体からの設定で、ファームウェア自動更新を「する」に設定する必要があります。〈P.7〉〈P.36〉
- ファームウェア自動更新サービスが提供されていますか？
ファームウェア自動更新は、専用のサーバが用意されている場合にのみ利用できます。詳しくは販売元へお問い合わせください。
- 新しいバージョンのファームウェアがリリースされていますか？
自動更新は、ご使用のバージョンより新しいファームウェアがある場合に行います。

●コンテンツセットが自動更新されない

- コンテンツセット自動更新設定が「する」になっていますか？
再起動時またはシャットダウン時に自動的にコンテンツセットの更新を行うには、Web 設定ページおよび本体からの設定で、コンテンツセット自動更新を「する」に設定する必要があります。〈P.7〉〈P.37〉
- コンテンツセット自動更新サービスが提供されていますか？
コンテンツセット自動更新は、専用のサーバが用意されている場合にのみ利用できます。詳しくは販売元へお問い合わせください。
- 新しいバージョンのコンテンツセットがリリースされていますか？
自動更新は、ご使用のバージョンより新しいコンテンツセットがある場合に行います。

- ・ 本書の内容の全部または一部について、無断で転載、複製、改変などを行うことは、固くお断りします。
- ・ 本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生したいかなる損害も、当社は一切の責任を負いません。

ピットタッチ・プロ2 設定ガイド

発行日：2023年4月 第12版

発行：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー
